

令和5年2月24日

陸自木更津駐屯地に暫定配備予定のV-22オスプレイの岩国基地への陸揚げについて

このことについて、本日（24日）、中国四国防衛局から説明があり、これを受けて、要請を行いましたので、下記のとおりお知らせします。

記**1 日時：**令和5年2月24日10時10分**2 場所：**市長応接室**3 相手方：**中国四国防衛局長 今給黎 学（いまきゅうれい まなぶ）**4 対応者：**岩 国 市 長 福田 良彦（ふくだ よしひこ）**5 国の説明内容 ※裏面 防衛省説明資料参照**

- 2月下旬以降に、陸自木更津駐屯地に暫定配備するオスプレイ3機の海上輸送が開始される。
- 当該船舶は、現時点では、3月中旬から下旬頃、岩国基地の港湾地区に到着し、陸揚げされる予定。
- 今回の陸揚げについて、船舶輸送状態のオスプレイの保護処置の解除及び飛行のための準備を行うことができる米軍施設としては、日本では岩国基地が最適であり、理解いただきたい。
- 保護処置の解除等の作業の実施時期については未定であり、現時点ではオスプレイの木更津駐屯地への輸送時期も確定していない。
- 輸送時期等の詳細については、状況の進展に応じ、改めて知らせる。
- オスプレイの岩国基地への陸揚げ、試験飛行等に当たっては、米側に対して万全を期すことを要望するとともに、地域の方々に不安感を与えることがないように、しっかり取り組んでまいります。

5 国への要請内容（口頭要請）及び回答**【要請内容】**

- 陸揚げ作業や試験飛行等に当たっては、日米合同委員会合意を遵守した運用を行うとともに、安全対策に万全を期すなど、地域住民に与える影響を最小限とすること。
- 新型コロナウイルスを含む感染症の感染拡大防止に万全を期すること。
- 今後の陸揚げ予定について、決まり次第、日程や内容等の情報提供をすること。
- 国内配備機の今後の陸揚げについて、岩国での実施を通例としないよう配慮するとともに、岩国で実施しようとする場合においては、岩国である必要性について、あらかじめ十分な情報提供をすること。

【回答内容】

要請のあった事項も踏まえ、日米間で連携を図りながら、引き続きしっかり対応してまいります。

陸自オスプレイの我が国への輸送について

令和5（2023）年2月
防 衛 省

- 陸自オスプレイについては、17機体制を予定しており、令和2年7月以降、合計11機が米国から米軍岩国基地を経て木更津駐屯地に輸送されました。
- 今般、12機目以降の米国本土からの機体輸送について調整した結果、2月下旬以降に計3機の日本に向けた海上輸送が開始されることとなりました。
国内の到着地は米軍岩国基地であり、現時点では、到着時期は3月中旬から下旬を予定しています。
- 米軍岩国基地到着後、米側の要員により、輸送のために施されていた保護処置の解除、飛行前点検・整備、試験飛行等が1機毎に実施されます。それらが終了した機体は順次、木更津駐屯地に1機ずつ飛行する予定です（飛行は1日当たり1機の予定）。
- なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための措置が必要な場合があるため、米側要員による上記作業の実施時期は未定であり、現時点では、木更津駐屯地に輸送される具体的な日付は確定していません。
- 木更津駐屯地への輸送時期等の詳細については、状況の進展に応じ、改めてお知らせいたします。

V-22
オスプレイ

